

安井直明議員が代表質問



代表質問に立った安井議員（写真）は、最初にくらしや平和を脅かす安倍政権の国政問題について、4月からの消費税の増税や、T P P、集団的自衛権、基地、靖国参拝など民意に反する悪政に対し、市長の所見を質したが、消費税は大切な税源、T P Pは反対、憲法9条の大切さを答弁。他の問題は明確な答弁を避けました。また、合併10周年を迎えてのこれまでの総括と新年度予算について、旧甲賀病院の跡地利用などを質問しました。

市民目線で市政の問題点質す

問 合併10周年を迎え旧町の良さを生かし、保健・福祉のまちづくりと提言してきたが。

市長 「生活感幸」のまちづくりをする。

問 今後の合併特例債はどこまで使うか。

総務部長 地域情報化、庁舎建設、橋整備、給食センター建設など278億円を見込む。

問 新年度、同和人権予算の見直しはどうか。

副市長 予算総額は3億3千万円。人件費など6千400万円を削減した。

問 大企業の企業進出に伴う固定資産税の減額ほどの程度か。

総務部長 最大で2千万円と見込んだ。

問 あいこむ甲賀への2億円貸付の条件等は。

総合政策部長 工事の遅れなど中期計画の見直しで資金不足、2年据え置き、5年返済とした。

問 旧甲賀病院跡地の今後の計画は、医療・福祉などの複合施設にせよ。

総合政策部長 病院組合では解体計画が未定である。庁内では調整会議で検討中だが、現段階では白紙状態だ。

問 台風18号で被害が出た山柳谷線の今後は。

建設部長 応急的に対応したが、法面は民地であり再度所有者と協議、対策を求める。

問 岩上橋は昨年12月議会からどう進展したか。

建設部長 老朽化と痛みが進行、国庫補助検討等、新年度予算は未計上となった。

新年度予算で実現した主なもの

- 80歳以上高齢者・障害者コミバス無料券
- 一日500円フリーコミバス乗車券
- 2歳半健診実施
- 住宅リフォーム助成制度拡充
- 携帯やパソコン等小型家電リサイクル実施
- 信楽高原鐵道復旧・台風18号被害対策
- 同和人権予算の削減6400万円
- 保育園幼稚園のエアコン設置新年度完了
- 土山市場本線改良工事 9200万円
- 片山今宿間の排水路工事 4000万円
- 市営寺庄団地建設工事

2014年3月議会特集 2.24～3.26

新年度予算案を審議する3月定例議会は、2月24日から3月26日まで開かれました。各会派の代表質問には日本共産党から安井直明議員団長が、また一般質問には18人が通告。日本共産党の山岡光広、小西喜代次議員が市民の願い実現へ積極的に発言しました。意見書や主な議案に対する各会派の態度は以下の通り。日本共産党は議案提案権を生かして6件の意見書を提案しました。

各会派・無所属	提出	討論		可否	共産党			清風クラブ					市民クラブ			公明党		無		議員のため採決に加わらず															
		賛成	反対		安井直明	山岡光広	小西喜代次	服部治男	橋本律子	中西弥兵衛	辻重治	的場計利	橋本恒典	田中美	戸田俊夫	森田久生	山中善治	林田久充	小川文久		戒脇浩	土山定信	森嶋克己	田中新人	片山修	竹若茂國	白坂萬里子	加藤和孝	田中将之	谷永兼二	竹村貞男	鶴飼勲			
主な議案に対する各会派の態度																																			
平成26年度一般会計予算案	市長	林田久充	安井直明	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度国民健康保険特別会計予算案	市長	加藤和孝	山岡光広	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度後期高齢者医療特別会計予算案	市長	中西弥兵衛	山岡光広	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成26年度介護保険特別会計予算案	市長	戒脇浩	山岡光広	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
甲賀市いじめ防止条例案	市長	田中実	小西喜代次	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
過疎対策の積極的推進を求める意見書案	橋本恒典	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本年4月からの消費税増税を中止するよう求める意見書案	安井直明	山岡光広	橋本恒典	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
特定秘密保護法の撤廃を求める意見書案	安井直明	小西喜代次	服部治男	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
安心を保障する介護保険制度を求める意見書案	山岡光広	小西喜代次	橋本律子	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
雇用促進住宅入居者の入居継続を求める意見書案	山岡光広	安井直明	林田久充	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書案	小西喜代次	竹村・安井	森田・田中将	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
初井勝人NHK会長の辞任、百田尚樹・長谷川三千子NHK経営委員会委員の罷免を求める意見書案	小西喜代次	山岡光広	戒脇浩	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
通学中の子どもの安全確保を求める意見書案	土山定信	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対

日本共産党
甲賀市議団ニュース
2014年 3月 31日 第143号



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勲旨
Tel 83-0765
Fax 83-0765

山岡光広・小西喜代次議員が一般質問

山岡光広議員



◆軽度要介護者の締め出し、◆子ども・子育て支援制度の問題点、◆児童クラブの待機児童対策と新法、◆特別支援を要する子どもの急増とこじか教室の拡充、◆新甲賀病院に関しコミバスダイヤ改善等

小西喜代次議員



◆災害見舞金は全被災者に支給を、◆滞納債権の徴収は市民の立場に立って実施を、◆ホームレスの緊急対応を制度化、◆国道1号線名坂信号交差点のアンダーパス化を

問 新甲賀病院開院から1年。①コミバスのダイヤや乗継券の改善。②雨や雪の日は病院前バス停のベンチがびしょ濡れ、改善を。③市道山松尾線の防犯灯を。
総合政策部長 ダイヤ改善は難しいが1日何度乗っても500円という「一日フリー乗車券」を発行し利便性を図る。バス停改善は病院に働きかける。
市民環境部長 順次整備する。
問 ①甲南希望ヶ丘小の「わくわく」や甲南第一の「そまっこ」児童クラブの待機児童対策。②法改正により対象児童が小6まで拡大されることに対する対応は。
健康福祉部長 「わくわく」は増築で、「そまっこ」は空き室で対応。法改正に伴い条例やガイドラインを見直す。
再問 施設改善はされたが、職員配置と夏休み時の対応は課題。早急に改善を。
健康福祉部長 対応する。
問 ①特別支援を要する子どもの急増。小中、就学前の実態は。②親子療育活動「こじか教室」の拡充を。
教育部長 特別支援学級は319名、通常学級で特別支援を要する子どもは867名。年々増加しており、加配教員を配置して対応。
健康福祉部長 「こじか教室」必要な見直しの時期に来ている。今後の対応検討。

問 台風18号での災害見舞金が、住み家でも市内に住民票がない方や、店舗の被災者に支給されていない。県の生活再建支援金は被災者全員を対象にしている。被災者全員に支給すべきではないか。
市長 要綱に定める「市内に居住する者が住家に被害を受けたとき」を基本に判断した。現行制度の基本は変えない。
問 滞納の徴収は市民の立場にたった執行が必要。差し押さえ手順はどうか。
総務部理事 差し押さえ手続は行っていない。督促状や催告書に、滞納処分を受けることになる旨を明記している。
問 滞納処分の「執行停止」の窓口での具体的な対応はどうしているのか。
総務部理事 生活保護受給者と同等の生活状態にあると判断した場合には、執行停止を行う。
問 ホームレスへの宿泊場所や食事など緊急対応の制度化を求める。
健康福祉部長 県が確保の緊急一時的宿泊施設で対応できている。今後は、民間アパートや旅館の協力など更に検討する。
問 国道1号西名坂信号地点交差点のアンダーパス化を求める。
建設部長 事業主体の滋賀国道事務所がやらないと決定した。市独自のアンダーパス化は考えていない。



要求実現へ県と直接交渉

県河川の浚渫や特別支援を要する子どもたちの急増対策、コメの生産調整、介護保険制度の問題で、3月4日日本共産党湖南地区議員団で県の各部局と直接交渉を行いました。

議員と議会のあり方が問われている…

議会を終えて 座談会

山岡 各会派による代表質問、今回も18名の議員による一般質問が行われたが、安井 一般質問の場合、持ち時間の30分をどう使うか、が本題ではなく、「市民の願いの実現と市政のチェック役」という議員の大事な議員の役割から見てどうか、と考えてみれば対決軸がない。
小西 何を主張したいのか、よくわからない。
山岡 そう。あれはどう？これはどう？ではなく、こういう実態だからこうするべき、という指摘がない。「発表」の場になってしまふ。
安井 新年度予算案の集中審議でも積極的に発言し問題点を明らかにした。
小西 予算でも決算でも、地方自治の本旨に立って、税金の集め方、使い方がこれでいいのか、もっと市民の立場に立った議論が必要。
山岡 今回も議案提案権を生かして6本の意見書を提案したが全部否決。いずれも市民の暮らしにとっても大事な内容なのに、清風クラブと公明はことごとく反対。なぜ？っていう感じ。
小西 NHK会長の「慰安婦」発言等に対して、あれだけマスコミでも問題視しているのに、「まったく問題ない」といっていった戒厳議員の反対討論には驚いた。
安井 竹村議員の集団的自衛権反対の討論は圧巻だった。介護や雇用促進なども含めて、政府に何ら意見を言うことができない議員では、市民の暮らしは守れない。